2011年3月期　第1四半期決算説明資料

Creativity
Innovation
Solution

2010年7月16日

ゲンダイエージェンシー株式会社
GENDAI AGENCY Inc.

http://www.gendai-a.co.jp/　2411

Contents

P2 ・第1四半期　損益計算書（連結）

P3 ・事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 ・第1四半期　損益計算書

P6 ・四半期売上高の推移

P7 ・品目別売上高

P8 ・従業員の状況

【中古遊技機売買仲介事業】

P10 ・第1四半期　損益計算書

P11 ・第1四半期　取扱台数・手数料単価の推移

【不動産事業】

P13 ・第1四半期　損益計算書

P14 ・第1四半期　連結貸借対照表

P15 ・第1四半期　連結キャッシュフロー計算書

P16 ・2011年3月期　連結業績予想と進捗状況

P17 ・自己株式の消却について

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期　損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	1Q累計期間	構成比	前年1Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	5,072	100.0%	5,299	100.0%	95.7%
営業利益	505	10.0%	681	12.9%	74.2%
経常利益	509	10.0%	678	12.8%	75.1%
純利益	283	5.6%	348	6.6%	81.3%

◆パチンコホール業界においては、ホール企業の経営環境に大きな変化はなく、比較的安定的に推移したものと思われます。

◆こうした環境下、当社グループでは、主力の広告事業と中古遊技機売買仲介事業において、サービスの付加価値向上と生産性の向上を追求し、更なるシェア拡大を目指してまいりました。

◆しかしながら、中古遊技機売買仲介事業においては、中古遊技機流通市場の流通量が例年になく極めて低調に推移し、各種施策による需要の喚起とコスト削減に取り組んだものの、市場低迷による取引高の減少を穴埋めするには至りませんでした。結果、当第1四半期の売上高は5,072百万円（前年同期比▲4.3%減）、営業利益は505百万円（同▲25.8%減）となりました。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

事業の種類別セグメント

当第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	広告事業 ゲンダイエージェンシー㈱	中古遊技機売買仲介事業 ㈱バリュー・クエスト	不動産事業 ㈱ランドサポート	その他事業 ㈱マスターシップ	消去 または全社	連結
売上高	4,840	186	45	－	－	5,072
セグメント利益	681	▲53	23	－	▲146	505

前年同期比

（単位：百万円）

	広告事業 ゲンダイエージェンシー㈱	中古遊技機売買仲介事業 ㈱バリュー・クエスト	不動産事業 ㈱ランドサポート	その他事業 ㈱マスターシップ	消去 または全社	連結
売上高	14	▲237	9	▲13	－	▲227
セグメント利益	▲29	▲166	8	21	▲10	▲176

◆連結売上高は主力である広告事業が増収となったものの、中古遊技機売買仲介事業が伸び悩んだ結果、▲227百万円の減収となりました。
また、セグメント利益についても、中古遊技機売買仲介事業の減収の影響が大きく、▲176百万円の減益となりました。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

広告事業

ゲンダイエージェンシー株式会社

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期　損益計算書（広告事業）

（単位：百万円）

広告事業	1Q累計期間	前年1Q累計期間	前年同期比
売上高	4,840	4,826	100.3%
営業費用	4,159	4,116	101.0%
セグメント利益	681	710	95.9%

◆ パチンコホール広告市場は、新店告知需要、新台入替告知需要ともに目立った特需等もみられず、概ね例年並みで推移しました。

◆広告事業における施策

①シェア拡大に向け、未開拓エリアにおける業界大手法人の新規獲得に向けた営業活動の強化

②テレビCM、ウェブ、モバイル広告等のサービスラインナップを拡充

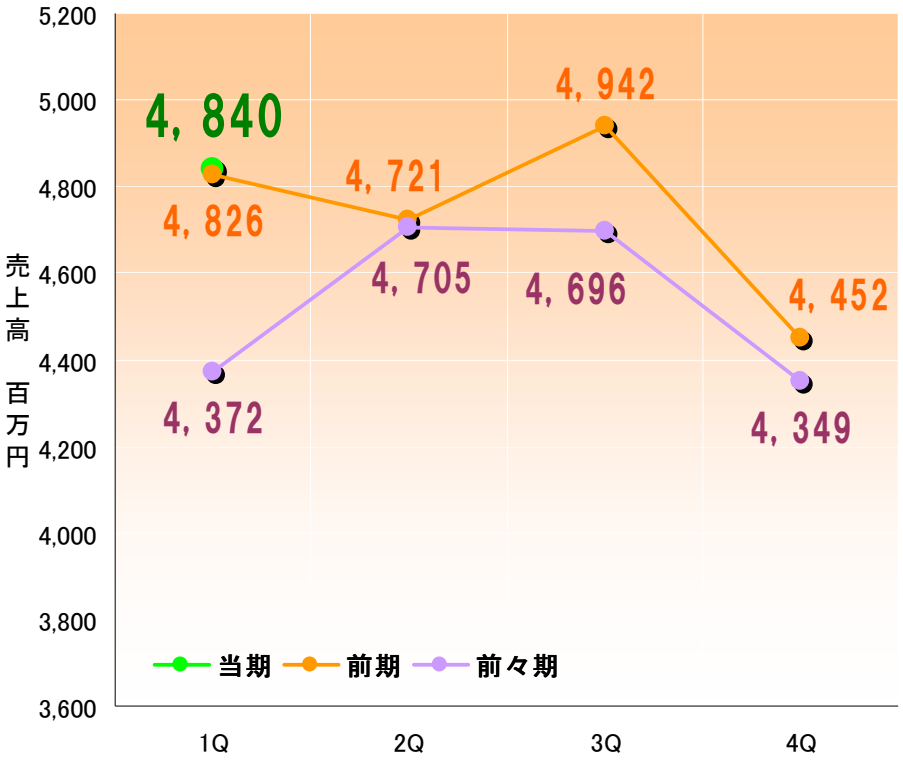
◆これらの取り組みの結果、例年と比較しても新規出店告知需要が大きかった前第１四半期との対比では、厳しい事業環境ではあったものの、当第１四半期の**売上高は4,840百万円（前年同期比0.3%増）**の増収となりましたが、品目構成比の変化による粗利率の低下の影響もあり、**セグメント利益は681百万円（同▲4.1%減）**となりました。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	**4,840**	—	—	—	
前期	4,826	4,721	4,942	4,452	18,942
前々期	4,372	4,705	4,696	4,349	18,123



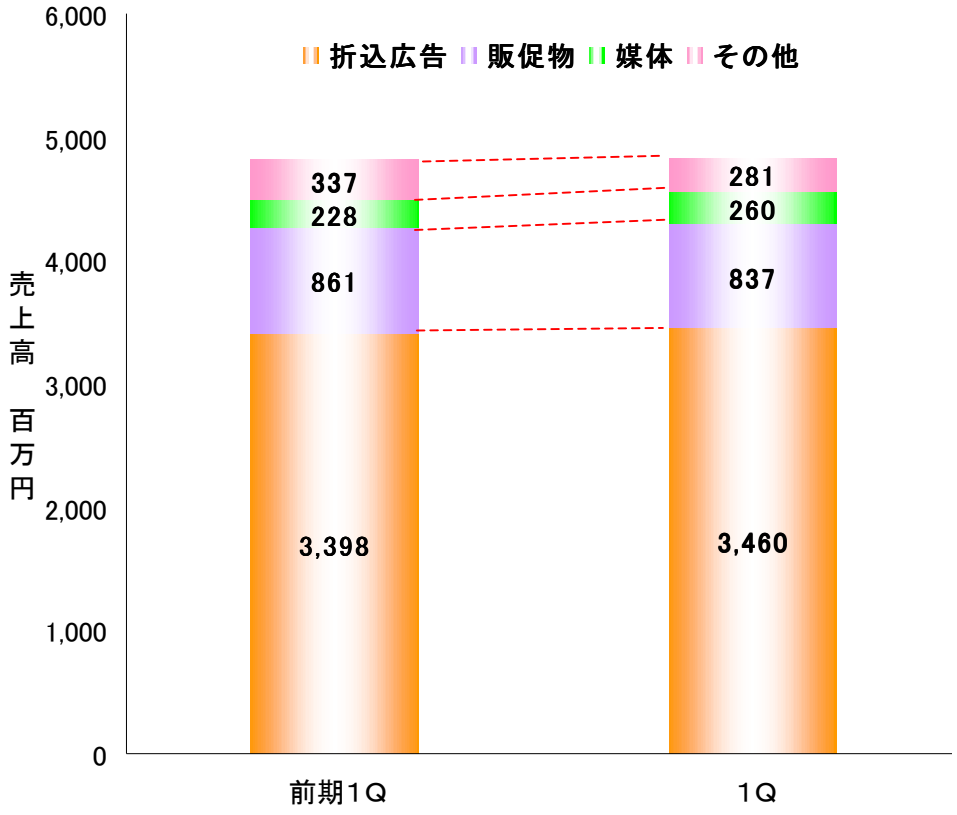
◆前第1四半期に対し新規出店告知需要が少なかったものの、新規獲得に向けた営業活動を強化し、前年同期比では増加となりました。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位:百万円)

		1Q	構成比	前期1Q	構成比	前年同期比
売上高合計	折込広告	3,460	71.5%	3,398	70.4%	101.8%
	販促物	837	17.3%	861	17.8%	97.2%
	媒体	260	5.4%	228	4.7%	114.0%
	その他	281	5.8%	337	7.0%	83.4%
		4,840	100.0%	4,826	100.0%	100.3%



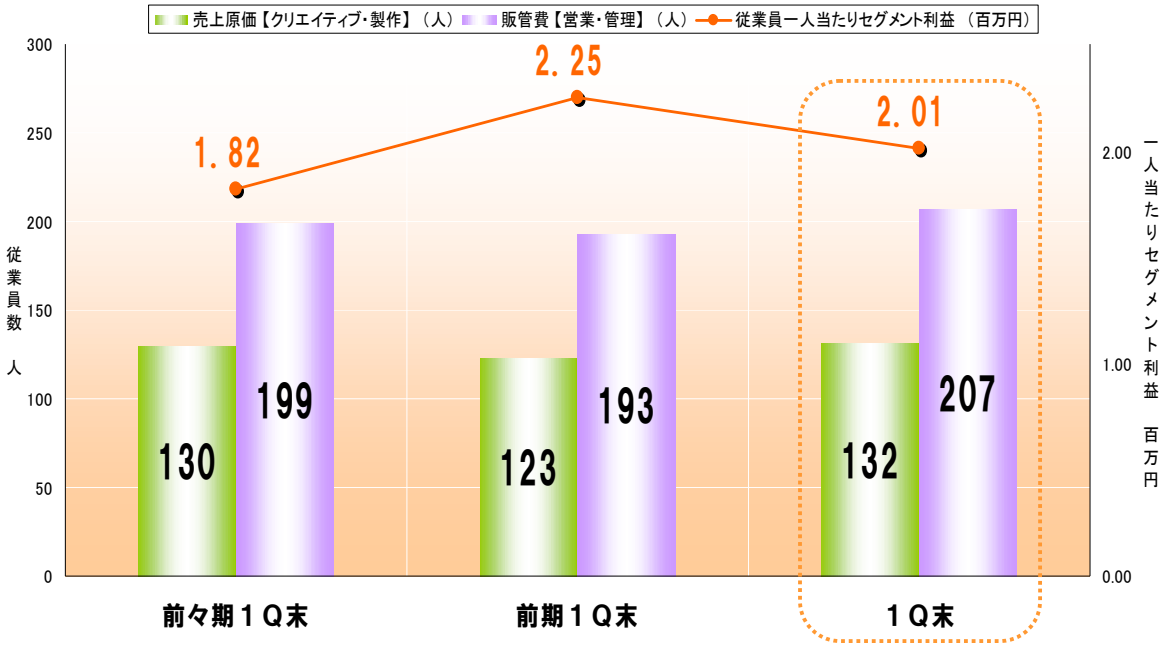
◆媒体売上は、主としてテレビCM受注増加により、前年同期比で14.0%増加しました。

◆その他売上は、新規出店等に伴う内外装需要が減少したことにより、前年同期比で16.6%減少しました。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

従業員の状況（広告事業）

	前々期1Q末	前期1Q末	1Q末
売上原価【クリエイティブ・製作】（人）	130	123	132
販管費【営業・管理】（人）	199	193	207
広告事業計 （人）	**329**	**316**	**339**
従業員一人当たりセグメント利益 （百万円）	**1.82**	**2.25**	**2.01**



◆新卒9名を含む、積極採用等の結果、従業員は前期1Q末に比べ**23名増加**しております。

◆従業員一人当たりセグメント利益は従業員増加の影響もあり、前年同期比で**240千円減少**しております。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

中古遊技機売買仲介事業
株式会社バリュー・クエスト

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期　損益計算書（中古遊技機売買仲介事業）

（単位：百万円）

中古遊技機売買仲介事業	1Q累計期間	前年1Q累計期間	前年同期比
売上高	186	423	44.0%
営業費用	239	310	77.1%
セグメント利益又は損失（▲）	▲53	113	－

◆6月より中古遊技機流通ルールが変更されたことに伴い、一時的に中古遊技機売買を抑制する動きが見られました。さらに遊技機の新台発売が低迷したことから、中古遊技機の流通量は例年になく極めて低調に推移いたしました。

◆中古遊技機売買仲介事業における施策

①会員制の中古遊技機売買情報提供サービス「VQnet」における付加価値を高める施策
・在庫管理システム「VQ在庫」をリニューアルし、利便性向上を図る
・即時に売買が完了する取引方法の提供など、より迅速な仲介を実現する取引フローの改善
・遊技機配送を低価格で実現する運送サービス「VQ特別運送」の提供

②厳しい環境化においても利益が確保できる収益構造の確立に向けたコスト管理の厳格化を実施

◆しかしながら、こうした取り組みも大幅な需要減少の影響を埋め合わせるまでには至らず、当第1四半期の取扱高は22千台（前年同期比▲60.0%減）、売上高は186百万円（同▲56.0%減）、のれん償却（35百万円）を加味したセグメント損失は▲53百万円（前年同期は113百万円の利益）となりました。

なお、中古遊技機売買仲介事業については、当面、不確実性の高い事業環境が続くことが予想されますが、業績の現状、中古遊技機流通市場の現況等を勘案し、しかるべき措置を講じてまいります。具体的には同事業の損益分岐点売上高を、月額50～60百万円と想定し、低迷する売上高水準でも黒字を維持できる収益構造を早急に確立するため、固定費を中心とするコスト削減を第2四半期末までに実施してまいります。

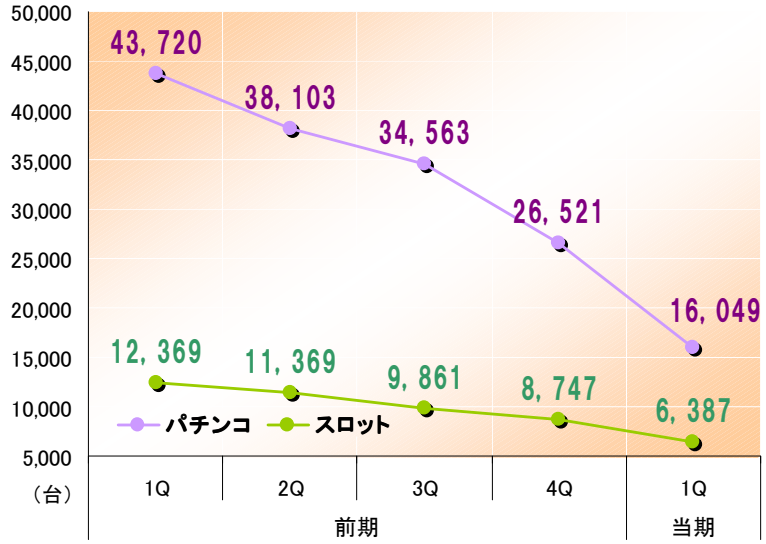
Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期取扱台数・手数料単価の推移（中古遊技機売買仲介事業）

（単位：台）

取扱台数	前期				当期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
パチンコ	43,720	38,103	34,563	26,521	**16,049**
スロット	12,369	11,369	9,861	8,747	**6,387**
合計	56,089	49,472	44,424	35,268	**22,436**

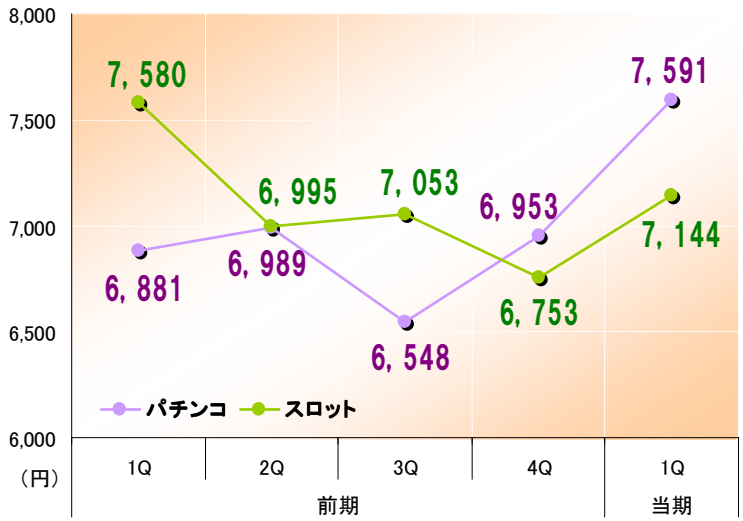
◆取扱台数：当第1四半期は、遊技機の新台発売の低迷や、本年6月より中古遊技機流通ルールが変更されたことに伴い、中古機売買を抑制する動きも見られ、極めて低調に推移しました。



（単位：円）

手数料単価	前期				当期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
パチンコ	6,881	6,989	6,548	6,953	**7,591**
スロット	7,580	6,995	7,053	6,753	**7,144**

◆手数料単価：パチンコ、スロットともに一部特定機種の取引に限定され、手数料単価は上昇しております。



Copyright 2010 Gendai Agency inc,

不動産事業
株式会社ランドサポート

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期　損益計算書（不動産事業）

（単位：百万円）

不動産事業	1Q累計期間	前年1Q累計期間	前年同期比
売上高	45	36	125.0%
営業費用	22	21	104.8%
セグメント利益	23	15	153.3%

◆当第１四半期においては、既契約の２件の賃貸案件のほか、５件の賃貸物件仲介案件等（９百万）を成約いたしました。その結果、売上高は45百万円（前年同期比25.0%増）となり、セグメント利益は23百万円（同53.3%増）となりました。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期　連結貸借対照表

（単位：百万円）

		前期末（A）	1Q末（B）	差額（B）−（A）	
資産合計	現金及び預金	3,360	2,983	▲377	・・・①
	受取手形・売掛金	2,359	2,351	▲8	
	その他流動資産	217	168	▲49	
	有形固定資産	968	979	11	
	無形固定資産	489	442	▲47	
	投資その他資産	1,835	1,460	▲375	・・・②
		9,230	**8,386**	**▲844**	
負債・純資産合計	支払手形・買掛金	1,380	1,390	10	
	短期借入金	108	228	120	
	未払法人税等	550	222	▲328	
	中古遊技機売買仲介顧客預り金	561	394	▲167	・・・③
	その他流動負債	378	310	▲68	
	長期借入金	862	1,186	324	
	その他固定負債	15	43	28	
	株主資本	4,975	4,216	▲759	・・・④
	その他	▲2	1	3	
	少数株主持分	400	393	▲7	
		9,230	**8,386**	**▲844**	

①現金及び預金の減少（▲377百万円）

②長期性預金の減少（▲300百万円）

③中古遊技機売買仲介預り金の減少（▲167百万円）

④純資産合計は、4,611百万円となり、前期末比▲761百万円の減少
～要因～
1）当期純利益283百万円
2）自己株式取得▲760百万円
3）期末配当▲282百万円

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

第1四半期　連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

	1Q	
税引前利益	**512**	
のれん償却額	35	
減価償却費	48	
売上債権の増減額	7	
棚卸資産の増減額	7	
仕入債務の増減額	9	
中古遊技機売買仲介顧客預り金の増減額	▲ 167	・・・①
その他	▲ 56	
小計	396	
法人税等の支出額	▲ 495	・・・②
その他	▲ 4	
営業活動によるキャッシュ・フロー	**▲ 103**	
有形・無形固定資産の取得による支出額	▲ 68	
その他	362	・・・③
投資活動によるキャッシュ・フロー	**293**	
借入金の増減額	444	
自己株式の取得による支出額	▲ 760	・・・④
配当金の支出額	▲ 249	
財務活動によるキャッシュ・フロー	**▲ 566**	
現金及び現金同等物の増減額	▲ 376	
現金及び現金同等物の期首残高	3,353	
現金及び現金同等物の期末残高	**2,977**	

①VQ社における中古遊技機売買仲介顧客預り金▲167百万円

②前期決算に係る法人税等の確定納付▲495百万円

③定期預金の払戻による収入300百万円および差入保証金の回収62百万円

④自己株式の取得▲760百万円及び配当金の支払▲249百万円

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

2011年3月期　連結業績予想と進捗状況

（単位：百万円）

	2011年3月期 1Q実績	2011年3月期 2Q累計予想	進捗率	2011年3月期 通期予想 ※	進捗率
売上高	5,072	10,280	49.3%	20,700	24.5%
営業利益	505	1,160	43.5%	2,460	20.5%
経常利益	509	1,155	44.1%	2,450	20.8%
当期純利益	283	620	45.6%	1,300	21.8%

※平成22年年4月16日公表

◆広告事業については概ね計画通りに推移しておりますが、中古遊技機売買仲介事業については、今後も不確実性の高い事業環境が続くことが予想されます。

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

自己株式の消却について

◆平成22年5月28日開催の取締役会にて、当社が保有する自己株式について、その全株を消却することを決議いたしました。

尚、決議した内容は下記のとおりであります。

【消却の内容】
① 消却する株式の種類　当社普通株式
② 消却する株式の数　17,730 株（消却前の発行済株式総数に対する割合　16.01%）
③ 消却予定日　平成22年6月30日

【ご参考】
1.自己株式の消却前（平成22年5月28日現在）
① 発行済株式総数　110,730 株
② 自己株式数　17,730 株

2.自己株式の消却後
① 発行済株式総数　93,000 株
② 自己株式数　－ 株

Copyright 2010 Gendai Agency inc,

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口　経営企画部　Tel.03-5358-3334

Copyright 2010 Gendai Agency inc,